

## エンカレッジファーミング(株) (新潟県新潟市)

実証面積合計 : 0.3ha

北  
陸

実証課題名 省人化テクノロジーと最適な運用方法実証PRJ

構成員 inaho(株)、エンカレッジファーミング(株)、新潟県新潟地域振興局農業振興部、新潟県農業総合研究所園芸研究センター



**背景・課題** 施設栽培の現場では、全作業時間割合の半分近くを占める収穫作業がアルバイト・パートにより行われ、人手不足・高齢化・最低賃金の上昇等が経営に大きな影響を及ぼしている。また、感染症拡大防止に係る外国人の入国制限の影響により、省人化・機械への代替が一層求められている。

エンカレッジファーミング(株)  
ミニトマト圃場(新潟市西蒲区)の外観

## 本実証プロジェクトにかける想い

農業人口減少や高齢化の進む日本では、経営体あたりの生産性を上げるために、省人化・機械への代替が強く求められています。

ロボットや技術を活かすには、収穫率や動作速度といった技術的な課題と、人とロボットと植物の特徴それぞれを理解し、適切な形をデザインする必要があります。

圃場の生産・環境データと経営データと組み合わせることで、農業経営の新しい可能性を示したいと考えています。

**目 標**

- 収穫作業時間の5%程度の軽減
- サービス型の自動化機械の稼働日数100日以上
- 実証区における、1%以上の経営改善効果の創出

## 実証する技術体系の概要

要素技術 ①ミニトマト自動収穫ロボット ②電動収穫台車(人間用) ③自動搬送ロボット

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる!」 ポイント					①		②		③			

①自動収穫ロボットのイメージ写真



②電動収穫台車(人間用)のイメージ写真



③自動搬送ロボットのイメージ写真



問い合わせ先

▶実証代表

inaho株式会社

▶視察等の受入について

info@inaho.co (担当: 藤井)